

質問事項	質問の要旨
1 女川町が目指すものは	<p>2015年3月、JRやゆぼっぼの再開、12月、「まちなか交流館」をはじめとする駅前テナント商店街の開業、自立再建の商店も少しずつ建ち並びました。5年前の震災直後の光景を思い起こせば、女川が新しい歩みを一歩、一歩と進めていることが実感できます。</p> <p>「女川町が目指しているもの」、「女川が100年後も元気なまちであるために」という、女川復興まちびらきパンフレットから感じたことを伺います。</p> <p>(1) 「震災の教訓を忘れることのない、安心・安全な港町づくり」とありますが、原発に関しては一切触れていません。</p> <p>原発に関する廃棄物、低レベルのもの、使用済核燃料、原発そのもの、今後の処理、管理、保管はどのように考えていますか。</p> <p>(2) 「基幹産業である水産業を中心に新しい視点や試みを取り入れた、港町産業の再生と発展」と記載されていますが、現在の水産業界の町税の割合と、水産業界に限らず町税の増加をどのように企むのか伺います。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
<p>2 健康寿命を延ばす介護 予防を</p>	<p>2月14日、健康をつくる町民のつどいが開催されました。大勢の参加者がいましたが、町内の人たちの参加が少なく、物足りなさも感じました。各地域の人々の参加が少なかったように見えました。</p> <p>介護の入り口は、買い物自立ができなくなること だそうです。女川は、これから高台に住宅地が広がります。今後、各地域で自立できるような取り組みの検討を。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>